

C 広報

たかのす

平成元年

11月1日
No.659

発行日 毎月1日・15日

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

〒018-33
秋田県北秋田郡鷹巣町花園町19番1号

T E L 0186(62)1111
F A X 0186(63)2586



Welcome to the OODAIKO NO YAKATA (ようこそ 大太鼓の館へ) 「OH! ワンダフル!!」

国際かんがい排水会議の第7回アジア・アフリカ会議に参加24カ国50人が、10月22日に大太鼓の館を訪れ、ズラリと並んだ『ギネス太鼓』にド肝をぬかしました。ミュージアムホールでは自国の太鼓を見つけ大喜び。上町・下町の大太鼓が打ち鳴らされると、あまりの迫力に目を丸くし、交互にバチを振っていました。

人口と世帯数 (住民基本台帳による)

9月30日現在		(前月比)
総人口	24,263人	(17人減)
男	11,795人	(11人減)
女	12,468人	(6人減)
(出生)	15人	転入 37人
(死亡)	19人	転出 50人
世帯数	7,309世帯	(1世帯増)

町の文化財に11件を指定

一いにしえをしのぶ一



①旧羽州街道（綾子地内）

今回指定を受けた十一件は、史跡や古文書を重点に、過去一年間にわたり調査・審査をしてきたもので、いずれも町の歴史を現代に伝えるものばかりです。

特に、江戸時代の三大飢饉のひとつといわれる「天保飢饉」に関する古文書、掛軸などは、当時の人々の悲惨さがうかがわれ、ややもすれば“現代ではあり得ない事実”と

先人のいぶきや祈りが聞える

文化財保護審議会（長崎久会長）では、このほど史跡二件、建造物一件、仏像一件、工芸品一件、書籍二件、古文書三件の計十一件を町の文化財にすべきとの答申をし、これを受け教育委員会では十月一日付けて指定書を交付しました。昭和五十三年一月にも十一件を指定しており、これで町指定二十二件、ほかに県指定を受けている四件を含め文化財が二十六件になりました。

する風潮のなかで、自然の厳しさを教示しているよう思います。

杉木立に往時の

おもかげが……

【写真①】旧羽州街道（羽州

街道は江戸日本橋を「元標」とした奥州街道を通り、白河の関（福島）で分岐して山形を経由して秋田県を通り青森に至っています。

県内の一里塚は、一番が院内番掛から六十三番矢立峠・陣場まで、距離は六十三里十四町二十二間（二四六・五キロ）となっています。

町内では五十二番前山、五十三番坊沢、五十四番綾子の三カ所。綾子一里塚は羽州街道の南北二カ所にあり、北側は金十郎岱、南は街道下に属し、現状は幅四尺、高さ一尺あまりで数本の杉が植えられています。

綾子小学校の裏手から一里塚あたりまでは道幅九尺もあり、道路も比較的良好で當時のおもかげが最も良い状態で保存されています。

【写真②】明利又城跡と浅利

氏墓碑群（七日市明利又（赤利又、浅利又ともいう）にあ

る浅利氏の古城跡で標高二七一の城山である。

面積は約十町歩あまりで、草地と広葉樹などに覆われていますが、山頂部の屋敷跡と

坦になつており、攻守に適していることから付近の山々の山頂や尾根などを見張所や番屋などに利用したものと考えられています。

【写真③】御札山制札（所有者・桜庭茂（蟹沢）

で、町道沿いの小高い丘であった現在地に移転し、七基が安置されています。

昭和三十年当時の道路改良で、藩より交付された制札

中には「嘉吉」の紀年銘が読みとれたりと、紀行文「みかべのよろい」に書いてある。

【写真④】御札山制札（所有者・桜庭茂（蟹沢）

林（水源涵養林）として禁伐の指定をうけているが、その時藩より交付された制札で縦三〇センチ、横六〇センチ、厚さ三センチの木製立札。墨字は風化して不明瞭であるが、部落文書に「坊沢村之内、蟹沢山木戸石道よりさまの上迄 嶺下

平成元年11月1日

林に立置候間 下草たりとも
刈り取るべからざるもの也」

谷勝代（坊沢）

六九四年）四月吉日大堤・三
沢彦右衛門奉納とあり、長径

二五^{ナシ}、短径二二・五^{ナシ}、厚
さ七^{ナシ}、重さニキ。である。

な肩書のある仏師の作品は、
近郷寺院には珍しく、最大で
最古のものとされている。

と記されていたことがわかり、
山林史料の現物として保存す
る価値があります。

長岐家の御札山制札||所有
者・長岐エイ（七日市）

正徳三年（一七一三年）佐
竹藩では、第一期林改革を樹
立して山林保護政策にのり出
した。特に成田村・太田村は

洪水がひん繁で被害が大きか
ったことから「御制札」を交付
したのだといわれています。

そして享保七年（一七二二
年）には、今泉村横長根に「水
の目林」を竜が鼻には「柳林」

を設定し、七月に藩の直命で小
猿部のうち奥見内沢を留山と
して、青木などすべて「御法
度」とする制札を交付したも
のです。

竹藩では、第一期林改革を樹
立して山林保護政策にのり出
した。特に成田村・太田村は

洪水がひん繁で被害が大きか
ったことから「御制札」を交付
したのだといわれています。

心寺什物 延宝八年（一六八
〇年）庚申二月十五日天下一
出羽宗味作」と刻字がある。

坊沢村淨心寺は、延宝八年
の同村打直検地帳に「屋敷十
五二畝十歩 浄心庵」とあ
ります。

心寺什物 延宝八年（一六八
〇年）庚申二月十五日天下一
出羽宗味作」と刻字がある。

坊沢村淨心寺は、延宝八年
の同村打直検地帳に「屋敷十
五二畝十歩 浄心庵」とあ
ります。

鈴口は神前に奉掲して、御
子神社

鈴口は神前に奉掲して、御
子神社

鈴口は神前に奉掲して、御
子神社

鈴口は神前に奉掲して、御
子神社

製。直径二四^{ナシ}、高さ六^{ナシ}の
大きさは、一般に浄土系在家
で所有している俗にいう「カ
ネコ」よりひとまわり大きな
重厚な作品である。

裏面に「出羽比内坊沢村淨
心寺什物 延宝八年（一六八
〇年）庚申二月十五日天下一
出羽宗味作」と刻字がある。

坊沢村淨心寺は、延宝八年
の同村打直検地帳に「屋敷十
五二畝十歩 浄心庵」とあ
ります。

これは宝永二年（一七〇二
年）当時、今泉部落居住の佐
藤七郎兵衛が京都から買い求
め寄進したものと、同寺の十
四世大祐が校割帳に記してい
る。

長岐エイ（七日市）

長岐家は、伝えでは明智光
秀の一族が秀吉との一戦で敗
れ、陸中国（岩手県）にひそ
んで益子氏を称していたが、
初代甚助が天正時代の九戸騒
動のおり、逃れて米内沢城主
嘉成右馬頭を頼つてこの地に

住みついたといわれ、長岐家
移住以前にすでにこの地に民
家があつたが、亡村となるこ
とで、この地に民家があつたが、
亡村となること

この地に民家があつたが、
亡村となること

とを憂い、治水・開墾などで更生させたらし。

長岐家は十六世紀の桃山時代に、ここで村づくりをしていた。関ヶ原の戦いが終ると長岐家は歴代藩主が藩内巡視の際に、本陣として泊まり間もなく、佐竹氏入国以後は代々肝煎をつとめた。

飢餓の惨状を如実に伝える

第四代義格、第九代義和が泊ったときの記録が、七左衛門の筆による「御渡御用日記」として現存している。邸は火災に遭っていないといわれ、火災時代の地方の肝煎屋敷では、少なくとも、二百六十年の歴史を呼吸しており貴重な存在となっています。



⑧ 永年記

【写真⑧】永年記 鷹巣村御竿万日記 管理・教育委員会 「永年記」は鷹巣村肝煎・成田兵左衛門の直筆で、記録の内容は藩政初期の元和年間より幕末に近い嘉永元年までの約二三〇年間の作柄、天候などを記入し、特に凶作年の気象や被害状況が詳しく記されている。

兵左衛門は、安永七年（一七八八年）の生まれで、享和元年に父のあとを継いで肝煎、文政六年より坊沢村にかわって現郷肝煎をつとめ、以来米川の水害対策、農業指導、

備荒対策などに特に功労があった。なお、兵左衛門の著作による「老農見聞録」（秋田県立図書館蔵）がある。これは「永年記」の内容をさらに整理加筆し、公的な参考に供



⑨ 天保飢饉見聞実録

野外作業の月日、場所、役人や村民の行動などが記されさらには地頭である大館候・檜山多賀谷氏などの検地役人にに対する付け届けが詳細に記入され、当時の食生活や芸能の一端が知られるのも興味ぶかい。



⑩ 「備荒(蓄)米奨励の図」

するために書かれたものです。

「鷹巣村御竿万日記」は、鷹

巣村の草分けで齊藤家田代兵部の直筆である。

正徳三年（一七一三年）八

月十六日、検地役人石井徳右衛門以下十人の来村から始まり、約一ヶ月にわたった村の「打直検地」の経過を記し、いわば肝煎の覚書である。

野外作業の月日、場所、役人や村民の行動などが記されさらには地頭である大館候・檜山多賀谷氏などの検地役人にに対する付け届けが詳細に記入され、当時の食生活や芸能の一端が知られるのも興味ぶかい。

|| 所有者・長谷川啓司（太田）

天保八年（一八三七年）太

田新田村・長谷川家八代目伊右衛門の編著による手稿。

江戸時代の三大飢饉のひとつ「天保飢饉」に関する災害記録で、天保四年元旦の天変から始まり、異常気象を月日を追って記入し近郷の飢饉見聞実例、さらには悲惨をきわめた南部、津軽の流民の惨状、最後は「大塙の乱」にふれ政治批判を暗示しています。

特に随所に巧みなタッチで描かれた彩色絵は、現代の出版物にもコピーされて多く引

用されています。

【写真⑩】備荒米奨励の図

所有者・成田彬子（元町）

江戸時代に飢饉対策のひと

つとして、御備米制度の普及徹底をはかるため、鷹巣村肝煎。兵左衛門が教育用に使ったもので、当時の社会教育教材であった。

鷹巣村の郷備は近郷の模範と称され、その貯米はすでに文化年間より始められ、天保飢饉の際に村内より一人の餓死者も出さなかつた功により、藩より苗字帶刀の御賞をうけている。

小猿部簡易水道 待ちに待つた全面給水

これまで慢性的な水不足に悩まされ続けてきた七日市地区を主体とする、小猿部簡易水道が全面給水体制に入りました。総事業費四億六千七百万円を投じたもので、十一月一日には七日市基幹集落センターで喜びの竣工式を行います。

七日市地区十四集落渋口
地区二集落を対象とした小猿
部簡易水道が、十月二十日に竣
工検査を完了して本格的な給
水体制に入り、地域住民が長
年待ち続けた「水」が蛇口か
ら勢いよく流れています。

沢 小猿部川と品類川合流点
下流の下タ袋地内の二カ所で
特に片逸沢は“超一級品”的
質のよい湧水となっています。

差が大きいことです。そのため配水管が二万八千㍍にもおあり、水圧を調整するため配水池は三ヵ所に設けました。第一配水池が片逸地内で、容量が四十九立方㍍、第二配水池が上葛黒地内で八十七立方㍍、第三配水池が長根沢地内

工事は昨年八月下旬から始まり、今年二月に黒森から妹尾館までの六集落で給水開始。七月、八月の異常な水不足が生じた時も、この地域ではなんら支障がなく、その威力を大いに發揮しました。

また、防火水槽十七カ所に給水ができ、火災など不慮の事態にも対応できる体制となっています。

第一配水池が片逸地内で、容量が四十九立方メートル、第二配水池が上葛黒地内で八十七立方メートル、第三配水池が長根沢地内で百五十六立方メートルとなつてゐます。

これまで慢性的な水不足に悩まされ続けてきた七日
地区を主体とする、小猿部簡易水道が全面給水体制
入りました。総事業費四億六千七百万円を投じたも
で、十一月一日には七日市基幹集落センターで喜び
竣工式を行います。

七日市地区十四集落、沢口 沢、小猿部川と品類川合流点
区二集落を対象とした小猿 下流の下タ袋地内の二カ所で

間の距離があることと、高低
差が大きいことです。そのため配水管が二万八千メートルにもお
く配管布設工事三億三千九百万円
用地及び補償費百十万元、
設計委託費千七百万円、その他二千五百万円となっています。

小猿部簡水の特徴は、集落

卷之三

■1日(日)＝全県高校駅伝
出発式。鷹巣郵便局前を朝
八時にスタート、一路秋田
魁本社を目指して高校健児
の力走を見せた。

式典及び祝賀会が盛大に行われた。

庄司たかのす



町長印

出川禰 言志

長会議があり出席した。

■ 5日(木)＝秋田県北空港建設促進期成同盟会役員会、会として空港建設予定地の決定などを協議した。安全母の会研修会が鷹阿交流センターで開催され、あいさつを述べた。

長会議があり出席した。
14日(土)＝鷹巣農林高等
学校創立八十周年記念式典
及び祝賀会が行われた。記
念事業として屋内多目的練
習場、発祥の地である七日
市には記念碑が同窓会、市

■ 5日(木)＝秋田県北空港建設促進期成同盟会役員会。会として空港建設予定地の決定などを協議した。

■ 6日(金)＝大太鼓の館竣工記念式典及び祝賀会。今春以来「町づくり特別対策

念事業として屋内多目的練習場、発祥の地である七日市には記念碑が同窓会、町村、在校生等の資金提供により建設された。

た館本体及び周辺整備が完了し、約三百人余の来賓及び工事関係者等を招待して

が、東京の日本青年会館で行われ、二百二十人の出席者で盛況を呈した。

■10日(火)＝体育の日を記念し、町民参加のもとで歩こう会、駅伝等による強歩、手入美、美生、八一の三

「第2回町民健康のつどい」

家族そろってエンジョイスポーツ!



さわやかにすみきった秋空のもと、十月十日の体育の日には「第二回町民健康のつどい」が競技場で行われ、歩こう会や駅伝、スポーツテストなどに老若男女約三百人が参加しました。

開会式では地域をあげてラジオ体操に取り組んできた花園町一区町内会など四団体が表彰されました。

毎年多くの参加者でにぎわう歩こう会には、百人を越える人が競技場からの約六キロコースにチャレンジ。特に慶祝公園では、眼下に広がる町

フィールドでは二十二人で一チームが健脚を競い、青年の部で綾子Aチームが連勝記録を十八に更新しました。

駅伝の結果は次のとおりです。
〔青年の部〕19・6*

①綾子A (高橋喜久男 伊藤和喜 鈴木祐悦 今川満良) 59分23秒
②沢口 59分59秒
③坊沢

〔壮年二部〕11・2*

①綾子A (畠山昭 佐藤国雄 大川孝造 鈴木一弘 斎藤和治) 30分13秒
②坊沢 31分25秒
③七日市 33分

の姿に歓声をあげ、しばし疲れをいやすグループもあり、思いおもいに自分のペースで完歩していました。

フィールドでは二十二人で一チームのジャンボなわとび大会も行われ、大きな掛け声とともに「一回でも多く」と真険な表情で挑戦していました。

また、二十五回目を迎えた町民駅伝は、四種目に十七チームが健脚を競い、青年の部で綾子Aチームが連勝記録を十八に更新しました。

駅伝の結果は次のとおりです。
〔壮年二部〕9*

①綾子 (佐藤正男 浅村武男 佐藤国雄 大川孝造 鈴木一弘 斎藤和治) 30分13秒
②坊沢 31分25秒
③七日市 33分

1時間4分57秒
〔職場の部〕19・6*

①鷹巣消防署 (千葉隆人 中島忍 藤島信夫 成田悟 松橋雅徳 長岐篤市) 59分20秒

②役場 1時間4分35秒
北製鋼 1時間5分17秒

③秋田県職員 5役場B

④秋田市役場

⑤七日市



「イヤー、いい汗をかいた」と満足顔

農業技術テレホンサービス

鷹巣農業改良普及所では、農業(生活)技術情報のテレホンサービスを行っています。

11月の放送予定は次のとおりですので、ご利用ください。

■11月4日～11月10日 白菜の加工と料理

■11月11日～11月20日 本年の病害虫防除の反省

■11月21日～11月29日 本年の野菜栽培の特徴と反省





〈職場の部〉鷹巣消防署



〈青年の部〉綴子A



〈壮年三部〉綴子



〈壮年一部〉綴子A

11月5日～11日

秋の火災予防運動

火の始末

がむすび
たまひや

標準小作料のお知らせ

農業委員会では、今年の標準小作料を下記のように10月12日付で公示しました。

田の部（農地の区分は基準収量で分類されています）

農地の区分	小作料の標準額	備考
A 区	38,100円	粗収益 173,531円 基準収量 570kg 物財費 89,224円 家族労働費等 36,124
B 区	30,300円	粗収益 163,069円 基準収量 540kg 物財費 86,137円 家族労働費等 36,557
C 区	20,100円	粗収益 143,769円 基準収量 480kg 物財費 86,137円 家族労働費等 37,043
参考転作田 (大豆)	10,700円	粗収益 52,200円 基準収量 200kg 物財費 36,485円 家族労働費等 36,124 助成金 23,000

畠の部

大 豆	6,500円	粗収益 52,200円 基準収量 200kg 物財費 17,594円 家族労働費等 28,050
-----	--------	---

なお、小作料の標準額は10円以下切り捨て(詳しくは農業委員会☎62-1111内線251まで)

文化祭と産業祭のご案内

11月2日(木)～5日(日)

第21回文化祭 ……ふれあい 韶きあい 高めあう文化を

■中央公民館会場

名 称	日	時 間	場 所
芸術文化奨励賞 と花だんコンク ー ル 表 彰	3 日	10:00～10:30	ホ ー ル
邦 雅 祭	3 日	10:30～15:30	ホ ー ル
音 楽 の タ ベ	3 日	18:30～20:00	ホ ー ル
民謡まつり	4 日	14:00～16:00	ホ ー ル
ダンスのタベ	4 日	19:30～21:00	ホ ー ル
映画まつり	5 日	9:30～12:00	ホ ー ル

□催し物 (9:00～18:00 5日は15:00まで)

健康展、県文化財展、脳卒中友の会展、銘石展、若妻食堂 ホークスサミット展、生涯学習展、書道展、短歌展

■鷹巣小学校会場

体 験 発 表	2 日	8:50～9:20	体 育 館
学 芸 発 表	2 日	9:40～11:40	体 育 館
理・社 発 表	2 日	12:40～2:10	各 教 室

□催し物 (9:00～16:00 5日は15:00まで)

書道、硬筆、英習字、絵画など

■広域交流センター会場

名 称	日	時 間	場 所
『木と文化』の語らい とシンポジウム	3 日	13:00～16:00	ホ ー ル
ロック&ブラバン ・ 演劇	4 日	14:00～18:00	ホ ー ル
バレエ発表会	5 日	13:30～15:00	ホ ー ル

□催し物 (9:00～18:00 5日は15:00まで)

生け花展、洋画展、幼児作品展、写真展、日本画展、茶席

■みちのく子供風土記館会場 (9:00～18:00 5日は15:00まで)

東京で活躍している神成志保さん、陶芸作家・神成澤さんの母子展

■大太鼓の館会場

内陸沿線ふるさと祭り (3日)

△郷土芸能 1回目 11:00～12:00

2回目 14:00～15:00

◇内陸沿線物産展 10:00～15:00

(2～3割引きで販売されます)

■史跡めぐり (明利又城跡に登ろう!)

3日と4日の2日間

1回目 9:00～11:30 (当日受付・定員30名)

2回目 13:30～16:00

第9回産業祭 ……地域おこしはみんなの力で

■鷹巣体育館

各 種 展 示	2～4 日	9:00～17:00
食 堂 ・ 売 店	2～4 日	9:00～17:00

■駐車場

第7回ピックリ商業祭	2～4 日	9:00～17:00
苗木即売会	2～4 日	9:00～17:00

■プール

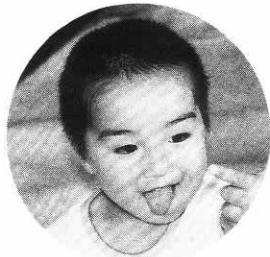
おみやげ・農産品即売	2～4 日	9:00～17:00
------------	-------	------------

■協賛行事

第7回 女子駅伝競争兼秋田内陸縦貫駅伝大会	3 日	男子…10時50分スタート 女子…11時30分スタート 12:30～50分頃ゴール
-----------------------	-----	---

◎公民館～交流センター～体育館～大太鼓の館間を10時～16時30分まで1時間ごとに無料バスが運行されます。

～虫歯のない子～



坊沢相善・佐藤宏ちゃん



深 関・沢野智実ちゃん



宮前町・三吉宏和ちゃん

お
し
ら
せ

母子健康手帳

妊婦を対象とした母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

- 母子健康手帳交付と第一回妊婦教室（必ず本人がおいでください）
- △日程＝十一月六日、二十日
- △受付時間＝午後零時三十分から一時（終了時間三時）
- △妊婦教室内容＝妊婦中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防
- △持参品＝印鑑、歯ブラシ

第二回妊婦教室

- △日程＝十一月九日
- △時間（午前十時から三時まで）
- △場所＝鷹巣高校（午後三時十分～四時）

献血にご協力

献血車が次の日程で巡回します。献血は気軽にできるボランティア、血液を待つ多くの患者さんのために、ご協力ををお願いします。

献血された方には、血液のなかのコレステロール量など、六項目について生化学検査を無料で行なっていますので、自分の健康チェックにもなります。

◆十一月十三日（月）

- △鷹巣高校（午前十一時～午後三時）
- △社会保険事務所（午後三時十分～四時）

年賀はがきの発売

絵入り年賀はがきは、三円の寄付金を含めて四十六円で発売します。心のこもった美しい年賀状で、新年のごあいさつと社会福祉の増進等へご協力ををお願いします。

農家の皆さんへのお願い

町では申告相談を来年2月上旬より予定しております。共同施設（個人も含む）による個人負担金は申告の際、農業経費として控除することができます。

昨年提出して頂いた方々には用紙を送付しておりますが、今年新たに始められた方や昨年提出しなかった方には、用紙を送付できませんので、11月末日まで経費の領収書・償還金年次表・購入証明書等を添付し税務課町民税係まで提出してください。

届出用紙は町民税係に準備しております。
お問い合わせは税務課町民税係まで

(☎62-1111 内線163)

（妊婦体操）、映写など
持参品＝母子健康手帳、トレー
パン、テキスト、昼食
※場所はいずれも中央公民館
保健相談室です。

県民手帳の申込はお早めに

「小さな手帳に豊富な情報」と好評の県民手帳。

平成二年用の予約受付けをしております。あなたもポケットにぜひ一冊を。

価格は三百五十円、申込は役場・企画調整係（☎62-1111内線3336）へ

夜間当番医(夜間診療) 日程表 (午後6時30分～9時)

11月	曜日	医療機関名	電話番号
1	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
2	木	盛岡 医院	62-1101
3	金	としま 医院	62-1267
4	土	戸嶋産婦人科医院	62-1123
5	日	北秋中央病院	62-1455
6	月	鷹巣病院	62-1215
7	火	近藤 医院	62-1263
8	水	奈良 医院	62-1146
9	木	佐藤外科消化器科医院	62-1420
10	金	北秋中央病院	62-1455
11	土	藤原 医院	62-2882
12	日	佐々木産婦人科医院	63-0105
13	月	盛岡 医院	62-1101
14	火	としま 医院	62-1267
15	水	戸嶋産婦人科医院	62-1123

（急患以外は受付けません）

がない。（勉強だけ）

二、地域社会では

○子育ては家庭にゆだねられ
地域は、共同体としての教育
機能をかえりみる余裕がない
○子どもは地域の後継者とし
て鍛えられることがなくなつ
た。

三、環境の変化



四、学校では

○高度な工業化社会をささえ
るに必要な情報・知識の量と
質の増加に加えて、本来家庭
や地域で育てられるはずのし
つけ、德育、公共性、の育成
にも必要以上の時間と労力が
費やされている。

○本来、実生活の中で育てられ
るべきしつけ、德育、公共性
を知識力でカバーすることは
むずかしい。

○共働きで忙しく、子どもと
触れあう時間が少ない。
○学歴社会ということで、子
どもの学力に対する両親の過
剰な期待

家庭教育相談員

○昔は家風があつて、子育て
は両親、祖父母とも一貫した
流れをついていた。
○人間社会の原型である、家
族社会で子どもなりの役割り
因はどこに潜んでいるだろう。

（一）夜間は電話（六三一一一七七）

何が子供を変えてきたのか
昔の親も、今の親も子育て
にそぞろ愛情に差があるとは
思われません。どこのご家庭
でも、子どものためにとせい
いっぽい頑張っているのが現
実の姿でなかろうか。

それなのに、登校拒否、い
じめ、学校嫌い、万引、非行
など、子育てをめぐる問題や
悩みは解消される気配がない
ようです。

「衣食足りて礼節を知る」と
いう格言は、完全に死語にな
つたのでしようか。

子育てを困難にしている原
因はどこに潜んでいるだろう。

子育ての夢ひろげる

子育て談義してみませんか

鷹巣町家庭教育相談員

まつはし のりお

ふるさと 人物伝 千葉栄太郎

一八九四一一九六九



戦後の町村自治体はいろ
いろな面で仕事が多くなり
行政運営合理化のため、昭
和二十八年、町村合併促進
法が公布された。合併にあ
たって旧七日市村は、距離
が近くて交通の便のよい米
内沢を望む奥部と、鷹巣町
への合併を望む本郷と鋭く
対立し、村民大会が開かれる。

昭和三十年二月二十四日
臨時議会が開催されたが兩
者の意見は平行線のままで
三日間が過ぎた。二十六日
「米内沢への合併」の緊急
動議が出され、反対派の一

鷹巣町への合併を決議する。
その後、三十一年に竜森
地区の分町問題が起き、住
民投票になるが必要数の賛
成三分の二に満たず否決。

栄太郎は明治三十七年、大
正元年、郡立農林学校卒業
後、役場に入り、書記・収入役
を歴任、昭和二十二年、村
長に当選、連続三期つとめ
小、中学校の校舎建築や設
備を充実させる。合併後は
支所長、教育委員をつとめ
る。昭和四十四年没七十五歳。

温厚な人柄であった。長男栄
悦は秋田市住。（畠山清吾
の手記より）文責 長崎 久

部退場の後に議決してしま
つた。村内は騒然となる。千
葉栄太郎村長は議長に辞表
提出、保留されたが青森県
に逃げ、行く方をくらます。
村長不在では県への合併手
続きがとれず、村長リコー
ルの署名が集められる。

平成元年11月1日



31.12%に死力を尽す

10月21日、第5回東北中学駅伝大会が、昨年に引き続き当町の特設コースで行われ、東北の精銳21校が健脚を競いました。絶好のコンディションのもと、午前10時に役場前をスタート。勝負は最終8区にもつれ込む激戦となり、宮城の榎木中がゴール手前1%でトップにたちそのままゴール。地元鷹中は12位、南中は13位と健闘を見せました。

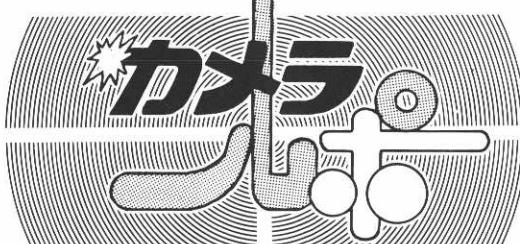
『広がれ ぬくもりの輪』をテーマに第3回ふれあい広場が10月22日に広域交流センターで行われ、大勢の人でぎわいました。町の福祉関係団体が主催しているもので、福祉相談コーナーや老人、障害者などによる作品展示など盛り沢山。健康相談では、あんまのサービスを受けるなど、心のふれあいが大きく広がった一日となりました。

心のふれあいを求めて



『山田キャスター』大いに語る

10月11日に元阪急ブレーブスのエースで、現在NHKのスポーツキャスターである山田久志さんの講演が中央公民館で開かれ、6百人の観衆で超満員となりました。現役時代はプロ野球を代表する投手の一人で通算284勝の成績。失敗談や苦労話、そして町出身の中島補手の活躍ぶりにもふれ、ファンにはたまらないひとときとなったようです。



新田中に住民待望の集会施設「胡桃館会館」が完成し、10月22日に盛大に竣工祝賀会が行われました。

建設に向け、地域一丸となった会館は二代目で、木造平屋建172平方㍍(48坪)、総事業費1千80万円となっています。明るくモダンな会館は、大会議室や和室、厨房などもあり、集会や憩いの場など活動の拠点として大いに期待されています。

胡桃館会館が完成



の広場



西幼稚園
おがわら しょうたくん(五歳)



菊作り



綴子下町
佐藤治三郎さん(73歳)

今月のテーマ『私の健康法』

対談 わたしたちの意見

私の健康法は、菊作りです。下手の横好きで、菊作りを始めて三十数年になります。毎朝早く起き、菊との一日が始まります。

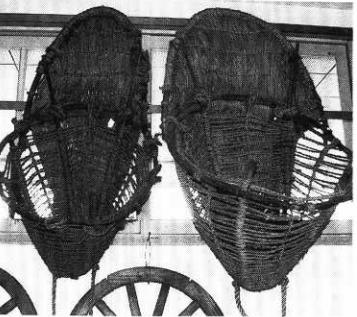
春には土作りを始め、肥料に植えつけ、菊の生長によつ

て、小さい鉢から大きい鉢に植えかえていきます。なかなか思いどおりには育たないが、町の文化祭に出品し、みんなに見ていただくのが楽しみです。

また、犬の散歩にも二時間以上歩き、山にも時々出かけます。春は山菜、たけのこ、秋はキノコ取りなどが大好きです。このよう歩きまわって居るのも健康法のひとつだ

と思つております。

食事は特に気をつけておりませんが、薬草のお茶は良く飲み、りんごは毎日かかさず



背負いもっこ

この労力のたくましさ

昔はこれに重い土や堆肥を入れて運んだ。用水堰の普請などの土方作業にも使つた。重いながらも背負つて運び、大きな労力であり男達のたくましさがあつた。堤防づくりの掛け声が聞こえるようだ。

〔松葉町・佐藤富雄さん〕

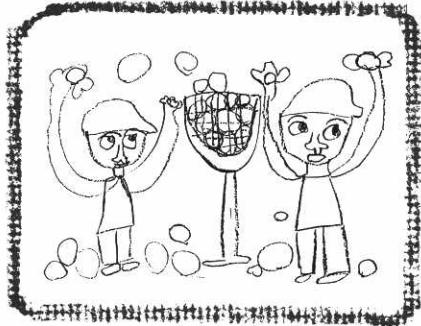
「子ども銀行」で表彰されました

南小学校六年・佐藤拓永君



ぼくたち南小学校は「優良子供銀行」として秋田県貯蓄推進委員会長表彰されました。昨年、千円の重さを知るために、空びん回収を始めましたが、一日がんばっても七千円にしかなりませんでした。みんなで苦労して得たお金は、吉野分校へのクリスマスプレゼントの材料費や歳末助け合いに使いました。それから毎年玉千円運動をして、少ないお年玉の使い方を考えたり、貯金でも集めると大きなお金になります。ぼくは修学旅行のとき、貯金をおろして、おこづかいにしました。残りは、中学校へ行くときの学生服などを買うのに使おうと思っています。

こうして、ぼくたちがお金の大切さを知り、お金を大切にしようとしているところがみとめられて、このような賞をもらうことことができたと



西幼稚園
たけだ

まきこちゃん(五歳)

—町民になりました—
みなさんよろしく!



アヒト

食べてあります。
これからも体の続くかぎり、
菊作りを続けてまいりたいと
思っております。



元町
九島 リツさん(73歳)



ボクは10月に鷹巣小1年2組に転校してきた阿部拓郎です。鷹巣は明るくきれいな町でビックリしました。大太鼓は世界一ですが、お母さんのタマゴ焼きも世界一おいしいです。やさしいお父さんは銀行に勤めていますので町民のみなさん、よろしくお願ひします。

阿部 豊さんご一家
東上綱86-6（鹿角市からの転入です）

早寝、早起きが一番の健康法だと私は思っています。

早起きも何かの目的がなければ長続きしないのですが、私は、自宅から二百メートル離れたところに、わずかのお花や、野菜づくりをしています。朝の出掛けにどの山見て

野菜の自慢をしながら友達のお茶のみが日課です。七十三歳を迎えた私が社の役員として、社員を激励し、そのかわりに芳息子が経営する化粧品販売会社で働きたいのです。

販売会と叱咤をさすがに

秋と咲きほころぶお花、季節の野菜の生長を見るのが楽しみなのです。収穫された野菜は、無農薬ですし、新鮮でとてもおいしくいただけます。これも健康につながっているのでは、と思っています。昼は、お花や野菜の自慢をしながら友人とのお茶のみが日課です。

昭和30年代後半のスベリ台である。当時の遊具はすべて「木」で作ったものばかりであった。その後、鉄製のものに変わったが、また木のぬくもりが見直され、現在は冒険しながら楽しめるように工夫されている。いずれにしてもズボンには穴があくようである。



たがのすの昔かみ



おしゃせ



一線美術運営委員 九島寮二氏

持ちください。

す。

善意

母タネさんの香典返し
▽相善=藤嶋敏雄さんから亡
父与七さんの香典返し

十一月の健康相談

十一月の健康相談は、次の

成人健康相談は八日と二十二日です。時間は午前十時がら午後三時までです。

児健康相談と離乳食指導は二十八日です。

対象のお子さん 受付時間
などは次のとおりです。

卷之三

脳卒中友の会十周年記念大会は十五日です。

力月兒健康診查、七力月

時二十分、母子健康手帳、問
診票、歯ブラシを忘れずにお

三種混合ワクチンの予防接種

このほど次のかたから、香
典返しにと町社会福祉協議会
へ寄付金がありました。

対象は昭和六十一年十月生まれのお子さんです。受付時間は午後零時四十分から一時十分まで、母子健康手帳問診票をお持ちください。場所は鷹巣保健所です。

た。 社協議会へ寄付金がありまし
一万八千五百十円、町社会福

10月1日～10月15日

慶弔
だより

—敬称略—

保険税五期の納期限は

十一月三十日です

和田	武田	堀内	出川	藤嶋	柴田	戸嶋	村上	三澤
イヨ(67歳)	ミヘ(77歳)	深関	掛泥	キサ(54歳)	綴子上町	糠沢	掛泥	モエ(リヨ)
与七	和一	大	相善	タケ(77歳)	大町	泥	大	三吉
61歳)	(61歳)	挂泥	相善	(82歳)	泥	泥	挂泥	83歳)
大	相善	泥	大	泥	泥	大	挂泥	81歳)
堤	大	泥	挂	泥	泥	挂	泥	大

■長岐 章公(篤市一男)中畑
藤原甚英 南鷹巣
桜田ひとみ 伊勢町
柳谷雅之 あけぼの町
佐藤八重子 沢糠

五十嵐(けいすけ)祐光
大関(だいかん)長男(ながこ)伊勢町
美希(みき)敏彦(としかず)
智明(ともあき)喜英(きえい)
二男(にこ)南鷹巣(なべのす)
出川(でかわ)